

新年のごあいさつ

生活協同組合コープぐんま
理事長 中村 隆夫



新年あけまして
おめでとーございます。

組合員のみなさまには、日頃よりコープぐんまの宅配・店舗・共済福祉・電気の各事業のご利用、組合員活動のご参加や募金等にご協力いただき、心から御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの流行が発端となり、店舗や宅配での商品の欠品、店舗の営業時間短縮、イベント企画の中止等、組合員のみなさまに大変ご迷惑をお掛けしましたことを、心からお詫び申し上げます。感染リスク低減のため、書面議決を中心とした「第六五回通常総代会」は、総代のみなさまのご協力により無事に終了することができました。「秋のブロック別総代会議」では、インターネットを活用したオンライン会議の開催を試み、自宅から会議に参加できる取り組みもはじめました。

また、人びとの命を守るために全力を尽くされている医療生協のみなさんを応援するために、緊急支援募金にも取り組みました。医療現場で活用していただけるよう、県内四つの各医療生協へ、お預かりした募金を寄付いたしました。たくさんの方の組合員のみなさまより募金をお寄せいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

組合員活動では、コロナ禍で活動が制限されるなか感染症対策に工夫を凝らし、子ども食堂「ほぺたん広場」を再開しました。また、一〇月には新たな取り組みとして、小さなお子さんのいるお母さんの心安らぐ場づくりを目指し、子育てひろば「かんがる〜む」を昭和店組合員室で始めました。各地フードバンクへの食材提供や乳児園へのオムツの提供など、地域の組合員とともに子育て支援に取り組みしました。また、特別協賛している「はじめてばこ」

は、一〇月二十日時点で四五〇八件のお申し込みをいただきました。

お米の収穫体験を通じた食育や、沼田市市民の森での「森林づくり」などの取り組みは地域の農協や森林組合とともに開催し、協同組合間の協力関係づくりにも貢献できたと思います。昨年初めての企画「みんなに伝える平和への想い」では、世代を超えて組合員から組合員に平和への思いが伝わった取り組みでした。

群馬県でも人口減少・少子高齢化が進むなか、コープぐんまは国連で採択された世界の持続可能な開発目標「SDGs」達成のため、全国の生協や農協などの協同組合、自治体や地域の様々な団体のみなさま、そして何よりもコープぐんま組合員のみなさまと想いを重ねて力を合わせ、「食品ロス」や「プラスチックごみ問題」の解決につながるエシカル消費の推進など、平和でより豊かな暮らし。

より良い地域づくりに貢献できるように取り組んでいきます。

昨年コープ商品六〇周年を記念して実施した「総選挙二〇二〇」では、組合員の想いを込めた投票が行われ、第一位は「たまごスープ」でした。これからも商品の開発や改善のため、多くから組合員からの声を大切に、新しい価値をお届けしていきます。

新型コロナウイルス感染症は未だ収束が見通せず、今後も私たちの生活に大きく影響していくものと考えます。不安な状況下ですが、協同の力で明るい未来を切り拓いていきましょう。今年が組合員のみなさまにとって、より良い年になりますようお祈りいたします。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

二〇二一年 元旦

